

平成21年6月10日

各 位

会社名	ユニパルス株式会社
代表者名	代表取締役会長兼社長 吉本 喬美
(コード番号)	6842 東証第二部)
問合せ先	常務取締役経営統括本部長 和田 倫幸
TEL	03-5148-3000

子会社の事業構造改善費用計上及び子会社の吸収合併効力発生日変更のお知らせ

当社の連結子会社である株式会社ナノテストは、本日開催の取締役会において、事業構造改善費用の計上を決議いたしましたのでお知らせいたします。

また、これに併せて当社は、平成21年1月23日の「子会社の吸収合併に関するお知らせ」及び平成21年2月20日の「子会社の吸収合併効力発生日延期に関するお知らせ」で開示しております通り、株式会社ナノテストを吸収合併することを決議しておりますが、本日開催の取締役会において、合併の効力発生日を下記の通り変更することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 子会社の事業構造改善費用計上について

(1) 理由

株式会社ナノテストは今後の事業展望について総合的に判断した結果、記録機器事業(ハードディスク検査装置等)を中心とした不採算事業の大幅な見直し、当社への吸収合併に伴う経営資源の共有化及び効率化による収益構造改善の実現のため、人員削減等の合理化を含めた事業構造改善費用の計上を決議いたしました。

(2) 内訳

特別退職金等	27 百万円
たな卸資産除却損	11 百万円
厚生年金基金脱退一括拠出金	25 百万円
合計	63 百万円

(3) 再就職支援等による人員削減について

対象者	同社従業員
退職人員	約 20 名
退職日	平成 21 年9月末日まで (ユニパルス株式会社に吸収合併後の退職含む)

(4) 業績への影響

「3. 今後の見通し」をご参照下さい。

なお、来期以降の連結業績への影響につきましては、売上高への影響は軽微であり、営業損益・計上損益・当期純損益への影響は年間 190 百万円の費用削減効果を見込んでおります。

2. 子会社の吸収合併効力発生日変更について

(1) 合併効力発生日の変更

変更前	変更後
平成 21 年 10 月 1 日 (予定)	平成 21 年 8 月 1 日 (予定)

(2) 合併効力発生日変更の理由

合併上の事務手続に当初の見込み以上の時間が要することが判明したため効力発生日を平成 21 年 10 月 1 日に延期して作業を進めてまいりましたが、事業構造改革を早期に推進するために、上記期日に変更することといたしました。

(3) 今後の日程

合併変更契約書承認取締役会	平成 21 年 6 月 10 日
合併変更契約書締結	平成 21 年 6 月 10 日
合併期日 (効力発生日)	平成 21 年 8 月 1 日 (予定)

(注) 本合併は、会社法第 796 条第 3 項に定める簡易合併ならびに同法第 784 条第 1 項に定める略式合併の規定により、合併契約承認に関する株主総会の決議を得ることなく行うものであります。

3. 今後の見通し

当期個別業績における影響につきましては、吸収合併後売上高 80 百万円が増加する見込みであります。営業損益及び経常損益における影響は軽微であります。特別損失に計上する抱合せ株式消滅差損 100 百万円における影響も軽微な見込みであります。

連結業績における影響につきましては、営業損益・経常損益は 28 百万円の費用削減効果を、特別損失は事業構造改善費用 63 百万円を見込んでおります。

なお、これらは本日発表の業績予想の修正に織り込み済みであります。

以 上